

船と海の安全を守るエキスパート

# 国民生活を支える、港や水域の専門家 海のパイロット

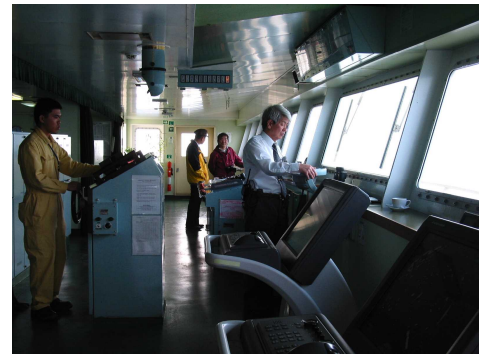


## 水先業務について

### 海上交通の秩序維持と海難事故の防止

島国である日本は、輸出入貨物の99%以上を船舶輸送に頼っており、主要港では、船舶交通の混雑が発生しています。日本の港湾でひとたび大規模な海難事故が発生すると、日本の経済活動や生活に支障が生じることとなります。このような状況の中で、日本各地の港湾に出入りする大型船に乗り込み、日本の船舶交通ルールに従い、船舶を安全かつ効率的に港に出入りさせているのが水先人（パイロット）です。

従来は外航船の船長経験者しか水先人になることができませんでしたが、近年の水先業務を取り巻く情勢の変化に対応すべく、2007年の法改正により、船長の経験がなくても水先人になることができるようになりました



## 女性水先人の働きやすさへの取り組み

### 就業体制の整備

2011年7月に初の女性水先人が誕生し、現在全国で8人の女性水先人が活躍中で、2019年中には新たに2人の女性水先人が就業する予定です。

水先人は個人事業主ですが、水先業界においても女性が活躍する時代が到来したことに鑑み、日本水先人会連合会（注1）では女性水先人を委員とするワーキンググループを設置し、各水先人会（注2）が母性保護等を考慮した女性水先人の就業体制を整備するための検討を進めています。

なお、ウェブサイト (<https://pilot.or.jp/index.html>) や YouTube の公式チャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UC5Lc9CeF6kqqRbK4fhNOYFQ/>) を活用し、広く一般の方々に対して水先人や水先業務の魅力積極的に情報発信しており、これらの中には、女性水先人が登場しておりますので、是非、一度はご覧下さい。

注1 全国の水先人会を会員とする全国組織

注2 全国の水先区（水先人が業務を行う区域）にそれぞれ1個設置されている、業務の引受事務等を行う法人



#### 取り組んでいる団体の概要

### 日本水先人会連合会

代表者：西本 哲明(会長)

所在地：東京都千代田区麹町4-5

事業内容：水先人の安定確保、水先業務運営の効率化や適格化、船舶交通の安全確保等

会員数：35水先人会

(令和元年6月時点)